

案件、仕様書、作業工数の連携管理により、伝達ミスを解消



大三製鋼株式会社

営業部管理担当 副部長 北林 義輝 氏

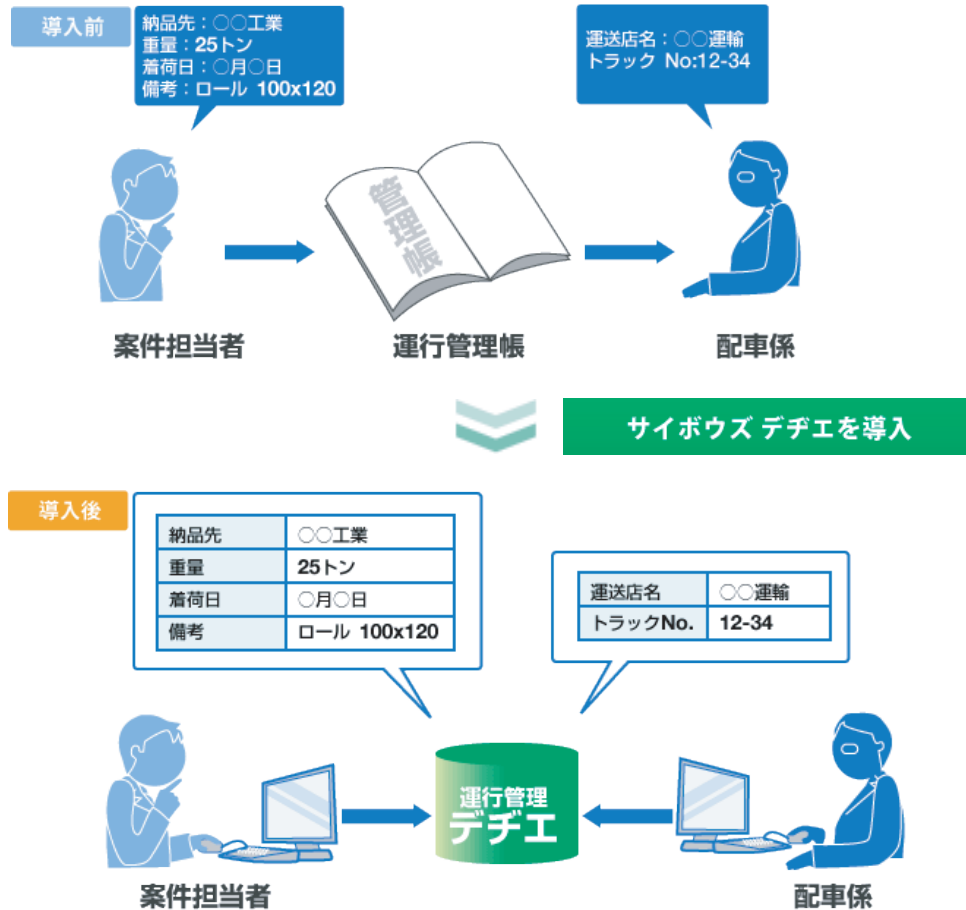
利用製品 : サイボуз デヂエ
 ホームページ : <http://www.daisan-seiko.co.jp/>
 利用人数 : 30人
 業種 : 鉄鋼業

鉄鋼業界で、平鋼や溶接の要らない耐震補強用「かみ合わせ継手」等を開発、圧延している同社では、納品物の運搬に使用するトラックの運行管理に「サイボуз デヂエ」を活用している。
 また、社内情報の共有に「サイボуз ガルーン」を使うことで、公平に情報が行き渡るようになり、従業員の意識改善にもつながっている。

手書き運行管理を IT 化

納品する荷物に対して、どのトラックが何台必要かなどの運行管理。

案件の担当者とトラック配車係との間で交わされる情報について、以前はノートに手書きで管理していた。しかし、書き記すことの手間や、判別できない文字によって担当者に再確認する手間などがあり、これらを解消するために「デヂエ」を導入。



業務の流れ

- ・ 担当者（営業）が納品日、納品物とその重量、目的地、などを入力
- ・ 配車係がこの情報を元に最適なトラックを選択し、デヂエに登録（納品物と重量からどのトラックを選ぶかは配車係の経験と勘）
- ・ 外注先であるトラック会社の担当が配車状況を確認
- ・ トラックに荷物を積んで出発した段階で「済」と更新